

2017年9月11日

## DJSI Asia/Pacific の構成銘柄に 4 年連続で選定

JT(本社:東京都港区、社長:小泉 光臣)は、世界的な社会的責任投資(SRI)<sup>※1</sup> 指標である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)」のアジア・太平洋版である「Dow Jones Sustainability Asia/Pacific Index (DJSI Asia/Pacific)」の構成銘柄に、4年連続で選定されました。

DJSI は、米国のダウ・ジョーンズ(S&P Dow Jones)社<sup>※2</sup>と、スイスの RobecoSAM 社<sup>※3</sup>が共同開発した SRI 指標で、経済・環境・社会の 3 つの側面から企業の持続可能性(サステナビリティ)を評価するものです。

DJSI Asia/Pacific は、日本を含むアジア・太平洋地域の主要企業約 600 社を対象にした指標で、毎年 9 月に構成銘柄の見直しが実施されます。今回は 152 社(うち日本企業 72 社)が選定されました。

世界 120 以上の国と地域で商品を販売する JT グループでは、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の 4 者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4 者の満足度を高めていく」ことを経営理念に掲げ、事業展開地域でのさまざまな取り組みを進めております。今後も持続可能な社会の実現に向け、当社は事業を通じて貢献してまいります。

MEMBER OF

**Dow Jones  
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM 

※1 社会的責任投資(SRI)

従来の財務分析に加え、企業活動における社会・環境・ガバナンス等への取り組みを考慮して行う投資手法

※2 ダウ・ジョーンズ(S&P Dow Jones)社

グローバルニュースとビジネス情報を提供する米国の代表的なメディア企業

※3 RobecoSAM 社

企業の持続可能性評価を行うスイスの資産運用コンサルティング会社